

平成30年6月1日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標題	堤田地区で基盤整備の起工式が開催！ in 津和野町 ～水稲直播と高収益作物の導入で更なる営農展開を～
----	---

(ダイジェスト)

津和野町堤田地区では昭和50年度から団体営ほ場整備事業を実施し、平成14年11月には農事組合法人「つつみだファーム」が誕生。現在では自作の米粉でパンを加工・販売するなど6次産業化にも取り組んでいます。

昨年度、ほ場の再整備に向けた事業が採択されたことから、今月26日(土)に起工式が開催され、関係者一同で工事の安全と営農の更なる発展を願いました。

本年5月18日の普及情報 NO. 2で「同町中山・長福地区の安全祈願祭開催」について情報を提供しましたが、この度堤田地区においても工事の安全等を願う起工式が開催されました。

中山・長福地区と同様、機械が大型化することに伴う稼働性の低下や水路等の老朽化が進み、再整備(中央部20a程度、周辺部10a程度を平均で50a)に取り組むこととなりました。

【事業概要】

事業費：約485百万円 受益面積：ほ場整理27.7ha
工事内容：区画整理27.7ha、用排水路整備7.6km
工事期間：平成29年度から5年間

今回の基盤整備では更なる農地の集積(87%→93%)が求められていますが、これに加えて地元では水稲の直播栽培や高収益作物(栗・里芋・アスパラガス)の導入、更には畦畔の芝生化が計画されており、普及部としては関係機関と連携し、これらに関する情報を逐次提供しながら、支援をしていくことにしています。



【祈願祭の様子】